

【X-MON3】 参照先 DNS サーバの変更手順

1. X-MON サーバへログイン

X-MON サーバへコンソールや SSH 経由でログインし、root ユーザにスイッチします。

2. 設定ファイルの編集

次のコマンドでファイルを編集し、指定したい DNS サーバを一行ごとに記述します。

不要な nameserver 行が存在する場合は適宜削除してください。

```
# vi /etc/resolv.conf
```

例 1) 参照先の DNS サーバが 192.168.0.1 の場合

```
nameserver 192.168.0.1
```

例 2) 参照先の DNS サーバが 192.168.0.1 と 192.168.0.2 の場合

```
nameserver 192.168.0.1  
nameserver 192.168.0.2
```

RHEL7 系以降の場合は、合わせて次のファイルも修正してください。

この変更を反映するには、OS 再起動を行う必要があります。また OS 再起動後は、念のため /etc/resolv.conf が意図した状態になっているか確認してください。

```
# vi /etc/NetworkManager/NetworkManager.conf
```

修正前)

```
[main]
```

修正後)

```
[main]  
dns=none
```

3. 動作確認

次のコマンドを発行し、指定した DNS サーバを利用して正しく名前解決が行われるか確認します。

```
# dig +short x-mon.jp
```

「35.244.135.151」と表示されていれば、設定した IP アドレスで正しく名前解決が行われています。

「connection timed out; no servers could be reached」等のメッセージが返る場合は正しく名前解決が出来ていないため、参照先の DNS の設定内容に誤りがないか、またファイアウォール等で通信が制限されていないか等をご確認ください。

以上